

毛呂山町防災行政無線（同報系・移動系）

デジタル化事業

—No.43 毛呂山町—

【事業の内容】

本町では地震、風水害及び土砂災害などの災害が発生することが想定され、災害発生時に、住民の生命・財産を守るため、様々な防災対策を行っております。その中で、防災行政無線（同報系・移動系）は、多くの住民に情報を一斉に伝えることができる有効な手段となっております。

しかしながら、本町の施設は、機器が古くアナログ方式のため、音声による情報伝達のみとなっております。

そこで、防災行政無線施設をアナログ方式からデジタル方式へと更新し、音声だけでなく多様な情報伝達手段を確保し、更なる防災力の向上に努めていきます。

【事業年度】

平成 27 年度～平成 28 年度（2 か年計画）

【予算額(千円)】

195,437千円（平成 28 年度）

【財源】

緊急防災・減災事業債、一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

現在運用している防災行政無線設備（同報系・移動系）は導入から約 30 年が経過し、機器の老朽化等により運用に支障をきたす可能性があります。また、防災上の重要設備であることから早期に更新する必要性がありました。さらに、設備は音声のみのため情報量や正確性に限界があり、災害発生時の情報伝達手段としては不十分な点があります。

この課題を解決するため、近年の災害発生状況を考慮し、住民への多様な情報伝達手段を確保することができるデジタル方式への更新を行います。

【事業のPRポイント】

- (1) 町指定の避難所に半固定局を設置することにより、災害時に電話や携帯電話が使えない状況下でも、通信が確保できます。
- (2) 音声品質の向上やデータ通信による映像等の情報の送受信が可能となります。
- (3) 屋外拡声子局ごとの放送や音声の調整が容易に行え、反響を抑える時間差放送が可能となります。
- (4) 多媒体（メール等）への連携が可能となり、様々な災害情報等の収集活動等が可能になります。

【事業実績・成果・今後の展開】

平成 27 年度では、主に操作卓と一部の同報系の更新工事を実施しました。平成 28 年度は、平成 27 年度に引き続き同報系の更新工事を行うほか、新たに移動系の更新工事及び半固定装置の設置工事を行います。

デジタル化工事が完了すると多媒体との連携が可能となるため、住民の皆さまへ災害情報等を迅速にお伝えできるよう多媒体との連携強化を図って参ります。

また、災害発生時、機器を迅速かつ的確に使用できるようにするため、操作研修等を定期的に行っていきます。

〔 連絡先 〕

総務課 消防防災係 049（295）2112（内線311、313）